

番号	3		事業名	県営農村地域防災減災(農業用河川工作物応急対策)		市町村名	箕輪町		路河川名	(一)天竜川	箇所名(ふりがな)	中井筋(なかいすじ)			
事業計画時の課題・背景及び事業経緯	本施設は、一級河川天竜川から取水し、農地19haに農業用水を供給している。 平成2年に天竜川の河川改修に伴い再整備されたが、その後、堰堤下流部に洗堀による落差が生じ、破損のおそれが生じていた。 また、右岸側の段丘に沿った無堤防区間では、流水による洗堀により用水路の崩落や段丘上の家屋に危険が生じていた。 このため、天竜川上流河川事務所より河川法の定期検査において、改善が指示(H22.8.23)されていた。												②事業実施に伴う自然環境・生活環境等の変化	事業実施に伴う自然環境・生活環境等の変化(A:環境がよくなった B:大きな影響なし C:影響が大きい)	評価
	魚道が設置されたことにより、魚の遡上が可能になった。													A	
事業目的	河川施設の安全確保と農業用水の安定供給を図ることを目的とする。												③施設の維持管理状況	施設の維持管理状況(A:地域の人たちの参加あり B:適切 C:やや不十分 D:不適切)	評価
事業概要	当初工期	H24~H26	費用対効果(当初時)	1.23	事業費(千円)	財源内訳(千円)						④地域住民等の評価	地域住民等の評価(A:評価が高い B:中程度の評価 C:評価が低い)	評価	
	最終工期	H24~H26	費用対効果(評価時)	1.16	上段:当初/下段:最終( )は国補事業分以内	国庫	その他	県債	一般財源						
	当初計画内容(主な工種)	取水施設(護床工1式 護岸工1式)			130,000	71,500	10,400	43,000	5,100	①中井筋土地管理組合により、用水の取水管理が行われている。			B		
	最終事業実績(主な工種)	取水施設(護床工1式 護岸工1式)			151,900	83,545	12,152	50,000	6,203	②洪水時には、中井筋土地管理組合の水利役員による農業水路の巡回管理を実施している。					
事業期間の延長、短縮理由と分析	工期の変更なし												④地域住民等の評価	・安定した取水ができるようになり、管理も容易になった。 ・立木等の除去が不要となり、管理の負担が軽減された。 ・河川の無堤防区間に護岸ができたので、浸食や崩落のおそれが無くなり、安心して生活ができるようになった。 ・堰堤がコンクリート施設で強く洪水時には安心できる。	A
事業費(予算)の増加、縮減理由と分析	事業費の増加理由：土質の変更に伴う工法変更 当初、礫質土を想定していたが、調査の結果、強度が低い砂質土であることが判明した。そのため、護岸工の構造計算を行った結果、護岸の補強が必要になり、事業費が増額になった。												改善措置の必要性	特になし	
①事業効果の発現状況	事業効果の発現状況(A:目的を超えた達成 B:達成した C:概ね達成)										評価	B	今後の取り組み及び同種事業への活用と課題	①適正な取水量の確保と洪水時の迅速なゲート閉鎖のために、自動水位観測やゲートの自動化による省力化を図ることも検討する。 ②魚の遡上の状況を把握して、魚道の効果を検証する。	
	直接的効果(定量的・定性的)	①安定した農業用水の取水が確保され、安定した農業経営が可能になった。 ②洪水時の洗堀がなくなり、安定した河床形成と施設の維持管理が可能になった。 ③無堤防区間に護岸が整備され、農業用水路と家屋の崩落の危険がなくなった。													
	間接的効果(定量的・定性的) ※事業の主たる目的以外で地域社会への貢献状況											農政部公共事業評価委員会の意見	本事業により、河川施設の安全確保と農業用水の安定供給が図られ、事業目的を果たしており、地域の評価が高いなど、総合評価Aが妥当と判断する。	総合評価	A
											長野県公共事業評価委員会の意見	農政部公共事業評価委員会の意見が妥当と判断する。	県の評価案	妥当	
													評価監視委員会意見	妥当	
													評価の決定	A	